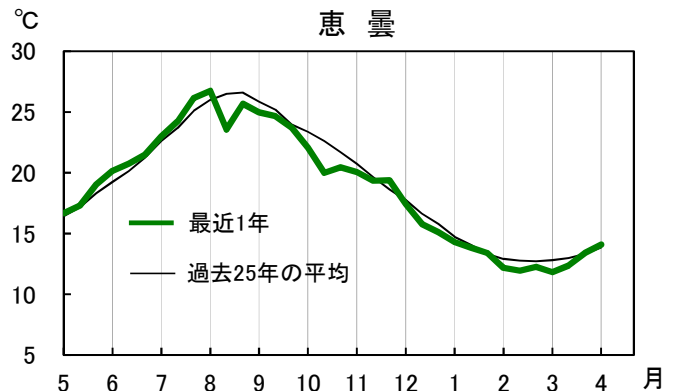
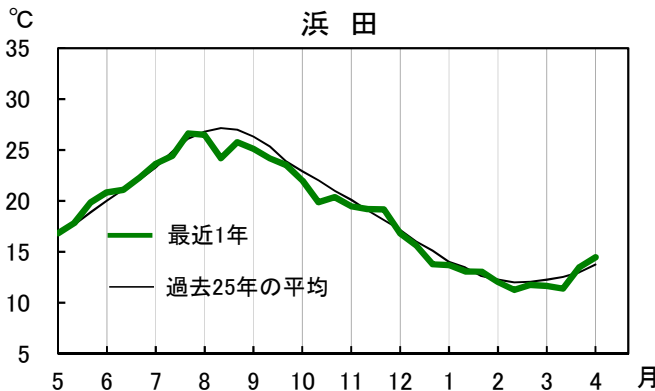




《3～4月の海況》

3月	月平均	平年差	評価
浜田	12.3℃	-0.3℃	やや低め
恵曇	12.5℃	-0.5℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では3月は上旬が「やや低め」、中旬が「かなり低め」でしたが、下旬に「やや高め」に転じ、4月に入り上旬時点で同様に「やや高め」で経過しています。一方、恵曇地区では3月は上旬が「かなり低め」、中旬が「やや低め」でしたが、下旬は「平年並み」となり、4月に入り上旬時点で同様に「平年並み」で経過しています。



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。マアジは348トンで平年の6.8倍、サバ類は309トンで平年の4.5倍となりました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は西郷で平年並み、浦郷で平年を下回りました。主体であるマアジは西郷で2,199トン（平年の2.7倍）、浦郷で2,010トン（平年の4.9倍）でしたが、サバ類は西郷で255トン（平年の3割）、浦郷で381トン（平年の1割以下）と不漁でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体のほぼ100%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は619kgで平年並みでした。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）のみの漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は60kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ主体で1統1航海当たり漁獲量は15.9トンで平年を上回りました。前月に引き続きマフグがまとまって漁獲され、カワハギ類、スルメイカ、キダイ、アカムツも平年を上回る漁獲量でした。また、ケンサキイカ、アンコウは平年並みでした。一方、ソウハチ、ムシガレイ、アナゴ類は低調で平年の5～6割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではヒレグロ、ソウハチ主体、久手地区ではニギス、ヒレグロ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は和江地区、久手地区共に平年並みの水揚げとなりました。ニギスは和江地区で平年の2.3倍、久手地区では平年の3.0倍で、ヒレグロは両地区共に平年の1.2倍の水揚げでした。また、アカガレイは両地区で平年を上回る揚げで、マダラは両地区で平年の4倍の水揚げでした。一方、ソウハチは両地区で平年の6～7割、アンコウは平年の5～6割と低調でした。

【定置網漁業】

石見地区ではヤリイカ、マアジ、サワラ主体の漁況で、1統当りではヤリイカが平年の2.8倍、マアジ、サワラは平年並みとなり、全統の総漁獲量は14トンで平年並みとなりました。出雲地区ではヤリイカ、マアジ、スルメイカ主体の漁況で、1統当りではヤリイカが平年の5倍、マアジが2.4倍、スルメイカが平年並みとなり、全統の総漁獲量は93トンで平年を上回りました。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統当りではスルメイカが平年の2.2倍、マアジが2.4倍で全漁獲物構成のほぼ9割を占め、全統の総漁獲量は56.9トンで平年を上回りました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は38kgで平年並みでした。石見地区ではブリ、サワラ類、カサゴ・メバル類、メダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は21kgで平年を下回りました。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、スルメイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は17kgで平年を下回りました。

【平成 27 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE (1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	671 トン	359%	299%	37.3 トン	379%	217%	◎
	西郷	マアジ	2,657 トン	39%	65%	56.5 トン	41%	73%	○
	浦郷	マアジ	2,266 トン	69%	97%	44.4 トン	62%	81%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	64 トン	115%	168%	619kg	96%	121%	○
	西郷	スルメイカ	60kg	-	9%	60kg	-	237%	◎
沖合 底びき網	浜田	マフグ、カワハギ類、スルメイカ	383 トン	132%	108%	15.9 トン	143%	127%	◎
小型 底びき網	久手	ニギス、ヒレグロ	195 トン	103%	124%	904kg	90%	114%	○
	和江	ヒレグロ、ソウハチ	318 トン	108%	103%	910kg	98%	100%	○
定置網 (大型)	浜田	休漁	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	ヤリイカ、スルメイカ	56 トン	343%	194%	624kg	351%	192%	◎
	浦郷	スルメイカ、マアジ	48 トン	343%	266%	2.0 トン	401%	283%	◎
釣り・縄	仁摩	メダイ、ブリ、カサゴ・メバル類、サワラ類	6 トン	131%	51%	27kg	84%	62%	▲
	大社	ブリ	37 トン	239%	133%	61kg	175%	126%	○
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ	1 トン	68%	48%	17kg	82%	80%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg (ほぼ 0Kg) のものは全てを－、前年の漁獲量が 0Kg (ほぼ 0Kg) のものは前年比を－、平年の漁獲量が 0Kg (ほぼ 0Kg) のものは平年比を－とした

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5 月号から再開する予定です）。